



編集 SEF事務局  
 連絡先 080-8865-0951  
 URL <http://sef-jpn.org>

**巻頭のことば 「テクノロジー新時代に相応しい「これからの社会様式」への期待」** **専務理事 黒澤東雄**

新聞・テレビでは with コロナや after コロナ対応の話題で連日にぎわっている。我々は新型コロナウイルス予防への必要対策として従来から踏襲してきた「日本式」の社会様式や生活習慣からの変更を余儀なくされてしまった。ところがそれらの新しい「社会様式」のいくつかはむしろ合理的であり、成果においても十分に期待が持てるとの認識が広がり始めている。時、折しも目覚ましいデジタル化を含むテクノロジー新時代。

質の高いテレワークやリモートワークが定着すれば毎日の通勤の必要性は必然的に減少する。ICT 技術の進歩と AI やロボット技術の多彩な応用でオフィスワークだけでなく工場などの生産現場でも人間が現場に常駐する必要も無くなってくる。田舎で自然をいっぱいに浴びる生活をしながら、オンラインでの最先端の働き方をするハイブリッドな暮らしが現実になる。高い技術と勤労意欲が旺盛な若者たちが地方移住を本気で模索し始めるだろう。

けた違いに高速な 5G の移動通信システムの実用化でオンライン診療が主流になり、専門性の高い高度な技術を持った医師による遠隔地からの医療がごく普通に実施される。企業では優秀な人材を大都市のオフィスに抱える必要が薄れ、一極集中型から地方分散の社会構造が自ずと実現されてくる。社会システムや社会様式の多様化に合わせた新しい教育システムで将来の可能性が広がり、効率よく学び、有意義に働く、そんな選択が出来ることになる。

人々は人生に於ける「働く意義」や「自分の生き方の価値を高める働き方」を真剣に考えるだろう。そんな時代のシニア世代は何を求めるのであろうか。SEF はどの様に順応するのであろうか。楽しく期待が多い近未来がそこまでやって来ている。

7 月度理事会より (第 203 回 7 月 22 日)		事務局
1. 「SEF 受託業務収入配分規定」見直し案 → 可決承認	6. 2020 年 4 月度～6 月度月次会計資料 → 報告了承	
2. Gドライブの整備 → 依頼了承	7. 東京都への届出書類の提出受理 → 報告了承	
3. NPO 保険の更新手続きのための活動実績 → 依頼了承	8. 総会後の挨拶状の郵送 → 報告了承	
4. 事務局総務の業務委託費について → 可決承認	9. 千代田化工建設社での検査コーディネーション業務の業務委託契約 → 報告了承	
5. 業務支援事業部 19 期 1Q の活動報告 → 報告了承		

**事業報告 (時事問題研究会)** **担当理事 波多野正幸**

新型コロナウイルスの感染拡大で、多人数の集会活動が制限されています。第二波の感染拡大の脅威がある中で、時事問題研究会の活動は、今期初めから、自宅学習として、各自資料を在宅で研究する事となりました。4 月は「2020 年代の針路」と「プーチン統治の 20 年」(4 月)、5 月から日々新聞を賑わしている一番の話題である「コロナ危機」(5, 6, 7 月)を継続研究しています。コロナウイルスの社会問題、コロナショック後の世界、疫病の文明論、コロナ危機の先、コロナ後の働き方、コロナ危機時の財政政策、コロナ危機とグローバリズムについて研究します。まだ終息の気配もなく今後も自宅学習を進める事になる事を考えて、リモート討議も検討中です。遠方のメンバー、外出しにくいメンバーの参加も便利なので、メンバーの合意と環境が整えば可能と思います。

**SEFサロン (第 116 回案内)** **担当理事 白崎善宏**

新型コロナウイルス感染防止のため、第 116 回 SEF サロンは 3 月、5 月、7 月と延期になりました。その後、感染が拡大している状況でもあり、次の予定日 9 月 23 日ですが、開催は見通せません。今後の状況により、再度お知らせいたします。

7 月度会員動向		事務局
<b>会員入退会</b> なし	<b>6 月末日現在の会員数</b> 正会員 : 27 名、 準会員 : 43 名、 賛助会員 : 5 社+1 法人	